



第44回

富山の 太鼓

ところ 砺波市文化会館 大ホール

とき 平成30年11月11日(日) 開演13時30分(開場13時)



同日
開催

第21回
日本太鼓
ジュニアコンクール
富山県大会

10:00 開演 (9:30 開場)
会場: 砺波市文化会館 大ホール



主催 富山県太鼓協会 (日本太鼓財団 富山県支部)
共催 (株)北日本新聞社、北日本放送株、富山エフエム放送株 協賛 (公財)日本太鼓財団、北陸三県太鼓協会、(株)浅野太鼓楽器店、高橋太鼓店、富山県民芸術文化祭実行委員会
後援 (公社)とやま観光推進機構、砺波市、砺波市教育委員会、(一社)砺波市観光協会、日本財団、となみ衛星通信テレビ株



ご挨拶

富山県太鼓協会 会長 本田 勝也

本日は「第44回富山の太鼓」がここ 砺波市文化会館 大ホール で開催できる運びとなり誠に光栄であり、心より感謝いたします。また、今大会を開催するに当たり、地元砺波市をはじめ、数多くの関係者の皆様のご協力・ご支援を賜り、この場を借りましてお礼を申し上げます。

今回で44回目となる富山の太鼓は、富山県内、さらに石川県・福井県の伝統的な太鼓を思う存分感じて頂ければ幸いです。そして、愛知県から「尾張新次郎太鼓保存会」様と小矢部市より「のぼな和太鼓」様も特別出演として太鼓を披露していただきます。また、午前中には第21回日本太鼓ジュニアコンク

ル富山県大会も同時開催し、次代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に7チームの子供たちが日ごろの練習の成果を発表します。日本太鼓は地域の活性化や振興に欠かせない存在になっています。今日は、私どもの熱い思いを込めた迫力のある太鼓の響きを、最後までお楽しみくださいますようお願い申し上げます。

結びに、開催までご尽力いただきました砺波市をはじめ関係各位の皆様方に心から感謝を申し上げますとともに、ご来場いただきました皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

砺波市長 夏野 修

このたび、第44回富山の太鼓並びに第21回日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会が、ここ砺波市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、富山県太鼓協会の皆様には、日頃より、富山の太鼓の技術向上と伝統芸能の伝承・振興を通じて、地域社会の発展にご尽力を賜っておりますことに深く敬意を表する次第であります。

さて、太鼓は、これを広く世に伝え、後世に伝承しようとする志のもと、多くの人々によってふるさとの風土や歴史とともに、生活の中でたたき継がれてまいりました。

特に、この大会では、ジュニアコンクールも行われるなど、伝統芸能を継承する上においても、大き

な役割を担っているものと期待しております。

本市では、「もっと元気 ほっと安心 ずっと幸せ」に暮らしていけるよう、「ともに輝き支え合う人づくり」を基本方針の一つに掲げ、文化芸術活動への支援と地域文化の継承に務めているところであります。

どうか、出場者の皆さんには、日ごろの練習の成果を十分に発揮していただくとともに、今日の大会を通じて、交流と融和をさらに深めていただきたいと思います。

結びに、本大会のご盛會を心からご祈念申し上げますとともに、本日、ご参会の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

第44回 富山の太鼓 プログラム

名人披露打ち

8代名人
越中いさみ太鼓保存会 河合 大地

開会挨拶

富山県太鼓協会 会長 本田 勝也

祝辞

砺波市長 夏野 修

激励の言葉

祝電披露

共演会

- 1 氷見有磯太鼓保存会 (氷見市)
- 2 源多良太鼓保存会 (高岡市)
- 3 水舞流越中八幡太鼓保存会 (砺波市)
- 4 常願太鼓保存会 (富山市)
- 5 式年太鼓保存会 (南砺市)
- 6 越中いさみ太鼓保存会 (砺波市)

第21回日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会

- 特別出演 石崎豊年太鼓 (石川県)
- 特別出演 のぼな和太鼓 (小矢部市)
- 特別出演 坂井市無形民俗文化財 火の太鼓 (福井県)
- 特別出演 尾張新次郎太鼓保存会 (愛知県)

参勝チーム
次勝チーム
優勝チーム

風音

閉会挨拶

富山県太鼓協会 副会長 高橋 正明

第21回 日本太鼓ジュニアコンクール 富山県大会

開会挨拶 日本太鼓財団富山県支部 支部長 本田 勝也

優勝杯返還

選手宣誓

審査員紹介

日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会

- 1 氷見有磯太鼓保存会 漣
- 2 越中いさみ太鼓保存会 春蘭
- 3 越中いさみ太鼓保存会 飛龍
- 4 水舞流越中八幡太鼓ジュニア
- 5 常願太鼓保存会 ひいらぎ
- 6 式年太鼓保存会 鼓遊
- 7 源多良太鼓保存会 心 (shin)

審査講評

表彰式

閉会挨拶 日本太鼓財団富山県支部 副支部長 高橋 正明

氷見有磯太鼓保存会 漣

演奏曲「有磯打楽」

■出演者

田中 陽花里 西川 真綾
田中 彪流



越中いさみ太鼓保存会 春蘭

演奏曲「らん」

■出演者

廣井 美玖 森田 善心
斎藤 あかり 織田 倫太郎
片田 結菜 亀田 結菜
野村 日向子 織田 寿々音



越中いさみ太鼓保存会 飛龍

演奏曲「飛龍」

■出演者

谷島 蒼牙 水上 聖斗
藤井 拓海 高江 悠生
高木 晴音 野村 颯
川辺 康介 水上 慶悟



水舞琉越中八幡太鼓ジュニア

演奏曲「清流の舞」

■出演者

勝野 希海	山本 滉己
林 伸幸	塚田 悠仁
水木 晴大	塚田 剛生
広瀬 一樹	中山 恵佑



式年太鼓保存会 鼓遊

演奏曲「北野のけいし」

■出演者

金田沙樹	片山ひなの
盛田絢香	盛田香里奈
和田風吹	



常願太鼓保存会 ひいらぎ

演奏曲「断章 (だんしょう)」

■出演者

高崎 梨花	山下 のぞ美
杉木 愛梨	宮田 想
山下 あさ美	

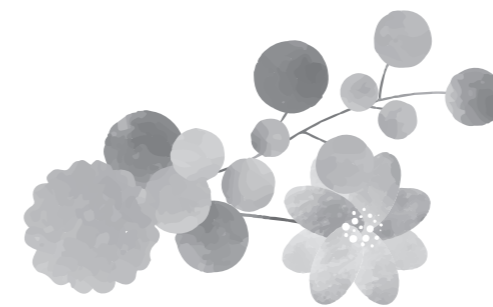


源多良太鼓保存会 心 (shin)

演奏曲「輝く空に」

■出演者

浜木 瑠奈	宮丸 華音
浜木 怜香	奥波 蒼真
奥波 遥斗	木戸 一翔
矢部 杏実	島次 斗希
寺野 さとみ	伊東 湊
河内 紫音	里木 昌平



氷見有磯太鼓保存会

演奏曲「海宴打楽」

〔由来〕 その昔、氷見海岸一帯は「有磯の海」と呼ばれており、万葉の歌人 大伴家持が「有磯の海…」と歌ったのが始まりと言われております。

今では「氷見」と言えばキトキト日本一の魚の町として皆様よくご存知のことと思いますが、昔から富山湾の暖流と寒流のせめぎ合う富山湾の沖合で鯛、鮪、鯨の大漁の時は太鼓を打ち鳴らして豊漁を喜び合い、村人達を集めたと言われております。その時の太鼓のリズムに獅子舞の曲打ち太鼓を折り込み「有磯太鼓」と名付けられたと言われており、大漁の期待と祈り、感謝を込めた人々の生活の中から生まれた伝統ある和太鼓です。



水舞流越中八幡太鼓保存会

演奏曲「河」

当保存会は、地元富山県砺波市太郎丸地区に古くから伝わる「大神楽太鼓」を継承する目的で、昭和53年に発足しました。伝統を受け継ぎ太鼓を親しむうちに、太鼓の持つ奥深い魅力をしるところとなり、曲打ち太鼓の創作に力を注いできました。

八幡太鼓は太鼓の音を聴いてもらうだけでなく、打ち手の感性を大切に「間」と「所作」を取り入れ、人に感銘を与えるような太鼓を目指して修練を積み、舞台を踏むにつれ評価も頂くようになり、富山県太鼓協会の認定をする「名人位」を3名輩出しています。

八幡太鼓の基本は、富山県砺波平野を流れる「庄川」の四季折々の清流をテーマにして、伝統の中に新しい感



性を取り入れ『一つの天に二つの流れを静と動』で表現しています。数多くの舞台を経験した当保存会も今年で結成40周年を迎えます。

源多良太鼓保存会

演奏曲「鼓草（たんぼぼ）」

源多良太鼓保存会は、高岡市福岡町の大滝地区にある、小さな集落「開群」に太古の昔から流れる源多良川から、その名を名づけられました。

夜通し源多良川のほとりで五穀豊穡を願って打たれていた太鼓は一時途絶えていましたが、郷土芸能の再興と、青少年の情操教育、健全育成を目的として、また地域参加の願いを込めて、平成元年10月に子供太鼓が結成され、復活しました。

平成4年には、大人太鼓を結成し、福岡町のつくりもんまつり、地域のイベント、自衛隊コンサート、刑務所慰問、介護施設や養護学校での演奏、二度の日中友好使節団として中国演奏を経験、子供太鼓は第15回・第16回日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会で優勝し全国大会へ二度の出場、2015年からは3年連



続で富山マラソンにて約2時間、沿道で打ち続ける応援演奏等の活動をして参りました。

そして今年、7月1日に結成30周年式典をむかえることができました。

現在、子供12名、大人12名の会員で活動しております。

常願太鼓保存会

演奏曲「断章」

富山市内を流れる常願寺川は、天下有数の暴れ川であり天井川である。主峰3,000m級の北アルプスの麓に端を発し、立山町・旧大山町・富山市を経て日本海にそそぐ急流である。「これは川ではなく滝だ」と言わしめた常願寺川。今日まで幾度となく氾濫し、河川流域の人はもちろん富山市など周辺の人々は、汗水流し育てた作物が洪水の猛威の前に一瞬にして水泡に帰し、飢饉の苦しさを味わってきたのである。

春の融雪水、または大量の雨が降れば、時を待たずして増水するこの常願寺川に見張り人を出し、堤防決壊の危険が生じれば即太鼓を打ち鳴らし、決壊防止に必要な人夫を集め、周辺住人に避難を知らせたのである。打ち鳴らす太鼓は河川の状態を知らせる「水太鼓」と呼ばれ、近い村より遠い村へと太鼓の響きが伝えられて急を知らせたのである。

この水太鼓が河川の氾濫、洪水による害のないよう、常の平穏無事を願い、五穀の実りが豊かに得られることを願って打ち鳴らされたのが常願太鼓である。常願太鼓



は鳴物の入らない大小の太鼓のみで構成され、素朴の中にも勇壮荘厳な響き、悪しき罪、穢れを祓い除き神の加護を願わんとする熱気にあふれている。立山連峰を背に日本海にそそぐ水の流れを想いおこさせるリズムは、いつの世にあっても自然への畏敬、感謝そして脅威を促しているのではないだろうか。

式年太鼓保存会

演奏曲「ランナー」

33年に一度行われる北野天満宮式年大祭の余興で、当時の青年団員が地元に残る熱送り太鼓を残そうと、民謡の音色に合わせて太鼓を打ったのが始まりである。そして、旧城端町の名所・旧跡を太鼓で表現した「式年流域端八景八打ち太鼓」を創作・発表してきた。中でも、代表曲である第七打ち 蓮如太鼓は毎年城端別院善徳寺の虫干し法会に奉納し、近年の蓮如上人五百回忌御遺忌法要では、京都東本願寺をはじめ各寺院でも演奏している。他にも、県内外を始めオーストラリア・アメリカでの式典、



各地域の祭りに演奏したり、また、地元での和太鼓競演会の開催等の活動をしている。

越中いさみ太鼓保存会

演奏曲「存 ～zone～」

約900年前の長承2年(1133年)、現在の富山県砺波市野村島鎮守桑野神社の神事に起因し、御神体安置の際に打ち鳴らされたのが始まりと伝えられています。

戦後、昭和27年(1952年)に村の有志がこの太鼓を復活させ、2年後、富山県では最初に「保存会」を結成し、活動を始めました。県内外に数多くの出演をしてきており、富山県太鼓協会にはその前身団体の設立時である昭和45年(1970年)より参加し、平成25年(2013年)には保存会結成60年の祝賀会を開くに至っております。

保存会結成以来、大人の部と子供の部があり、伝統継承に力を注いできました。子供の時からずっと参加している者がほとんどで、大人になっても自分の子供にも教える形で、親子で活動しているメンバーが多数おります。

基本となる演奏は笛と地方に合わせて打ち込む北陸特有の曲打ち太鼓ですが、近年は古来のいさみ太鼓の伝統を基盤に、時代感覚を取り入れた新しいスタイルの曲も演奏し、活動を続けています。

以前は野村島の有志での活動が中心でしたが、現在で



は野村島地区内だけでなく、砺波市、高岡市からの会員も増えてきています。

演奏活動だけでなく、個人・団体に対する指導、曲の提供も積極的に行っており、これからもさらなる発展を期待しているところであります。

特別出演

石崎豊年太鼓 (石川県)

演奏曲「石心伝心」「石崎豊年太鼓」

古くから漁業が盛んで、とくに勇壮華麗な「石崎奉燈祭」で知られる能登半島七尾市石崎町。そこに伝わる祭り太鼓の歴史と伝統を守るために結成。五穀豊穡を願う雨乞い太鼓の「石崎豊年太鼓」や、奉燈祭の迫力を表現した奉燈囃子は、海の男たちの熱く燃えたぎる魂が込められている。



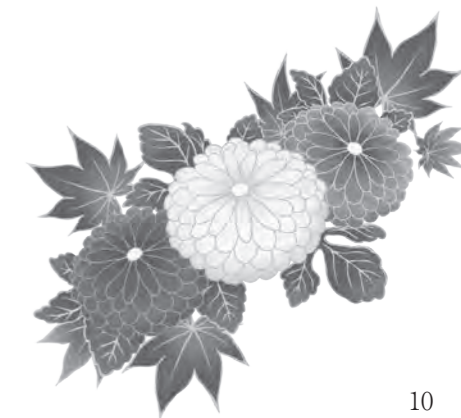
特別出演

のばな和太鼓 (小矢部市)

演奏曲「竹田の子守唄」「ラストスパート」「Hello」

「のばな和太鼓」は富山県小矢部市野端地区の住人を中心に平成8年に結成しました。毎年9月に行われる野端八幡宮秋季祭礼では町内挙げてお神輿巡行と共に「大神楽太鼓」を打ち鳴らしています。

昔から伝わる伝統の響きを守りながら・・・今を生きる人たちに「勇気」というメッセージを発信できるチームを目指し活動しています。



特別出演 坂井市無形民俗文化財 火の太鼓 (福井県)

演奏曲「東尋坊荒波乱れ打ち」「みくに港ばやし」「火の太鼓」

今を去ること、400 有余年前三国を襲った大嵐を鎮める為打ち鳴らしたとされる『神事の太鼓』が、今の火の太鼓の前身であり、それを『三国太鼓』として伝承してきた。

昭和 30 年にはこの太鼓文化を伝承しようとする者が集まり太鼓の打法を口伝えにより守ってきた。

昭和 41 年に(榊松竹)により映画化されたのを期に“火の太鼓”と名付け更に伝記、古文書等により、昭和 47 年 9 月 21 日、には古典より伝わる独特の『巴巻打方』が認められ三国町無形文化財に指定され、合併を期に、坂井市無形民俗文化財となる。

昭和 55 年 4 月には県内で初めて国立大劇場の舞台に立ち、平成 23 年 8 月には青山劇場で 2 回目の東京公演を果たせたことは、大変な名誉なことであり、今後更なる伝統文化の継承に日々、研鑽をして行きます。



又、他に類を見ない^{じかた}地方と大打ちの立ち位置が逆になっているところにも着眼していただければ幸いです。

特別出演 尾張新次郎太鼓保存会 (愛知県)

演奏曲「神楽太鼓揃え打」「曲太鼓 森津」「神楽屋形太鼓」「曲太鼓 神来舞」

尾張新次郎太鼓保存会は、愛知県西部『尾張地方』の農村地帯に江戸時代(文化・文政)の頃から伝わる神楽太鼓です。その名称は祭囃子の復活に生涯を捧げた初代会長、故 西川新次郎氏の名前からきています。

当会の神楽太鼓は(曲太鼓)と(神楽屋形太鼓)に大別できます。前者は、長胴太鼓と紐締太鼓を座して、檜製のバチを回転させたり、飛ばしたり曲芸をしながら通叩するもので、曲目には『神来舞・わたよせ崩し・森津』などがあり、後者は、竹を細く割ったバチで、屋形の上の長胴太鼓(黒檀・紫檀等)と締太鼓を歩行しながら演奏、長胴太鼓は破れる寸前まで張っており、非常に甲高い音がします。それぞれ神楽笛に合わせて奏叩



するこれらの太鼓は、名古屋市にある熱田神宮の大神楽から発生したものです。

平成30年度 富山県太鼓協会
加盟団体

団体名	代表者	住所	電話番号
越中いさみ太鼓保存会	高木 民雄	砺波市野村島385	(0763) 32-0428
水舞流越中八幡太鼓保存会	熊野 誠	砺波市太郎丸194-2	(0763) 32-2807
氷見有磯太鼓保存会	西川 雅清	氷見市稲積192-18	(0766) 75-1655
常願太鼓保存会	高橋 正明	富山市田中町4-14-5	(076) 432-5368
源多良太鼓保存会	中山 光恵	高岡市福岡町開辭字115-3	(0766) 64-3890
式年太鼓保存会	長谷川 邦憲	南砺市北野646	(0763) 62-1573



第44回富山の太鼓・第21回日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会

役員・スタッフ

総括	本田 勝也 (会長)			
本部	高橋 正明 (副会長)	西川 雅清 (副会長)		
企画・演出	河合 朋宣 (理事長)			
接待	西野恵津子	中山 光恵	宮田美恵子	源通 博
受付	中根 弘美 本田千佳代	川崎 和代 清水 綾乃	堀川 薫	川辺 颯華
設営	林 禎之 高橋 正明	森河利志晴	高木 渉	河合 大地
進行	河合 朋宣 小林 洋文	西川 雅清 堀田 佳照	堀江 哲也 堀川 悠	三村 健亮 浜木 亮
ジュニアコンクール	西野恵津子	中山 光恵	宮田美恵子	飛弾 稔
風音	高木 智之			
司会	曾田えつ子			
撮影	工房 KERO、スマイリング+			
広報	ウイズケイ			

今 後 の 予 定

- 2019年3月24日(日) 第21回 日本太鼓ジュニアコンクール
会場▶福島県郡山市 けんしん郡山市民文化センター
- 2019年4月21日(日) 第45回 富山県太鼓打ち競技会
会場▶砺波市文化会館大ホール
- 2019年6月16日(日) 第1回 中日本太鼓フェスティバル
会場▶アイザック小杉文化ホール ラポール
- 2019年11月10日(日) 第45回富山の太鼓
会場▶砺波市文化会館大ホール